

「平成22年度バリアフリー教室」の開催



平成22年10月22日に宮古島市において鏡原小学校6年生28名を対象に、平成22年12月3日に石垣市において宮良小学校4・5・6年生59名を対象に「バリアフリー教室」を開催しました。

運輸部

高齢社会の到来や障害のある人の社会参加への要請の高まりなどに伴い、建築物、道路、公共交通などで、バリアフリーの取組が進められてきています。しかし、ハード面でのバリアフリーだけでは、お年寄りや障がいのある人も、そうでない人も、一人ひとりがその個性と能力を発揮し、自由に参画し、自己実現を図っていけるような社会は実現できません。一人ひとりがさまざまな人の不便さや不自由さを自らの問題として認識し、その社会参加に積極的に協力する「心のバリアフリー」を推進する必要があります。

開催し、高齢者、視覚障がい者、身体障がい者等の疑似体験や介助体験等を通し、バリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者、障がい者等に対し、「お手伝いしましょう」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」を目指してきました。

験を行いました。

また、宮良小学校では、白内障疑似体験用ゴーグルの体験、リフト付きバス乗車体験、絵本「バナナ」の読み聞かせ等についても実施しました。絵本「バナナ」の読み聞かせでは、みんなの中には、いろんな「みんな」がいて、障がいのある人も、そうでない人も、みんな一つづつの大切な命で「命こそ宝」そして「平等な命」であることを学習しました。



宮古島市立鏡原小学校

日時：平成22年10月22日9:30～12:00

場所：鏡原小学校体育館(座学)、宮古空港ターミナルビル(体験学習)

対象：鏡原小学校6年生28名

講師：宮古島市社会福祉協議会（コーディネーター：古波蔵孝子、専門員：高原安仁）

参加した児童からの声

- とても重くてオジーの気持ちがあった。これからは、自分ができることで世話をしたい。
- アイマスクは周りが見えなかったのとても怖くて歩きづらかった。車いすはUターンするのが難しく壁にぶつかってしまい大変だった。困っている人がいれば、荷物を持ったり道案内をしたり手助けしたい。

【宮古島市バリアフリー教室開催風景】



【講義を聴く児童】



【空港での高齢者疑似体験】



【空港での車椅子体験】



【空港でのアイマスク体験】



石垣市立宮良小学校

日時：平成22年12月3日14:00～16:30

場所：宮良小学校体育館

対象：宮良小学校4・5・6年生59名

講師：NPO法人脳文庫（代表：喜久里美也子、神谷明子）

参加した児童からの声

- 高齢者の体験で、お年寄りは大変だなと思った。これからはお年寄りを大事にしたい。（4年生）
- おじいちゃんやおばあちゃんが階段の上り下りが大変になったり、目、耳、体が不自由になった時は、体験したことを思い出して、出来ることを手伝えたらいいです。（5年生）
- 今までは困っている人を見かけてもなかなか声をかけられなかったけど、この授業を受けて、困っている人のお手伝いの仕方を知りました。これからは困っている人を見かけたら迷わず助けてあげたいと思います。（6年生）

運輸部企画室としては、今後も「バリアフリー教室」の開催を通じて、より多くの皆様にバリアフリー化社会の実現についての理解を深めて頂くとともに、「心のバリアフリー」を積極的に推進していきたいと思っています。



【白内障疑似体験用ゴーグルの体験】

【石垣島市バリアフリー教室開催風景】



【リフト付きバス乗車体験】



【絵本「バナナ」の読み聞かせ】